

鶏肉情勢

令和元年11月5日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
生	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会10月下旬実施)によると、9月の推計実績は、処理羽数56,501千羽(前年比103.9%)・処理重量164.9千ト(同104.1%)と羽数・重量とも前年を上回り、前月時点の計画値(処理羽数同104.0%・処理重量同104.7%)並となった。主な地域別では北海道・東北地区が前年比106.5%(前回計画107.0%)、南九州地区も同103.5%(同102.9%)と上回ったものの、関東地区が台風15号の影響等で前月時点の計画より約7%下回った。なお、生鳥処分は廃棄合計2.89%(前年差△0.24%)となっている。 (2) 10月-12月計画では、10月は処理羽数(同101.7%)・処理重量(102.1%)、11月も処理羽数(同102.4%)・処理重量(同102.5%)と、ともに前月時点の計画と同様に前年を上回る計画となっている。しかし続いた台風等の影響により、育成や種鶏生産において被害が関東から東北と広範囲に及んでいるため、下方修正の可能性もある。12月については処理羽数(同102.4%)・処理重量(同103.0%)と現時点では上回る計画となっており、特に南九州地区(同103.2%・同103.6%)の伸びが高くなっている。消費増税やアジア地区における豚コレラ等の発生継続、さらにはTTP等の影響が出るかは不透明であるが、年末の最需要期に向けて鶏肉消費の拡大・底上げができるか、食肉全般の需給動向に注視が必要と思われる。
	2. 輸入 (1) 財務省が10月30日に公表した貿易統計によると、9月の鶏肉(原料肉)輸入量は53.6千ト(前年比133.2%)で、日本食肉輸出入協会の予測(50.2千ト)を約3.4千ト上回った。8月末の未通関分が9月輸入に加わったとみられる。国別ではブラジルが予測を約2.0千ト上回る40.0千ト(同147.0%)、タイも約1.3千ト上回る11.8千ト(同107.4%)となった。同協会(10月18日取り纏め)によると10月47.4千ト(同87.1%)・11月47.8千ト(同110.7%)と予測されており、「鶏肉の国内の動きは、国産品はこれまでに安値低迷から多少回復の兆しがみられ、一方輸入品もブラジル産、タイ産といずれも中国からの引き合いが強いことから価格が高く、満杯にある倉庫事情もあって、今ある国内の現物を優先する動きから安値乱売も多少収まりつつある。」とコメントしている。ここにも、アジア地区における豚コレラ等の影響がどの様に出るかが注目される。 (2) 鶏肉調整品の9月輸入量は41.11千ト(前年比107.7%)と、前月よりは0.9千ト減少した。中国産は、ほぼ横ばいの15.0千ト(同92.5%)、タイ産が0.5千ト減少の25.7千トも前年比では118.5%と大きく伸びた。前月は前年比を下回ったものの増加傾向が回復し1-9月累計でも374.9千ト(同102.1%)となっており、量販店やコンビニ等の惣菜向け需要はクリスマス等も控え今後も伸びると思われ、この傾向は続くものと考えられる。
産	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、8月は、全国一世帯当たりの3畜種生鮮肉の消費(購入)数量は3,740g(前年比99.2%)、金額は5,760円(同97.6%)となった。一般的に単価安に加え天候不順や猛暑による消費減退等で低調となった。牛肉はバーベキュー用食材等の動きが鈍く数量(同94.7%)・金額(同98.9%)とも前年を下回った。豚肉も冷しゃぶ等は好調も全体では鈍く数量(同96.6%)金額(同96.2%)とも下回った。鶏肉については他畜種同様で購入頻度(同99.0%)・数量(96.3%)・金額(同96.8%)とも下回った。また、やきとりについても購入金額が一世帯あたり282円で前年比97.0%と落ち込んだと報告されている。
	2. 量販・卸 (1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、9月の食品売上高は全店ベースで前年比100.4%と上回ったものの、生鮮3部門の売上高は全店ベースで前年比97.6%・既存店ベースでも同96.1%と厳しい状況が続いている。畜産部門の売上高は1,011億円で全店ベース(同97.7%)、既存店ベース(同95.8%)とも下回った。「牛肉は前年より気温が高くステーキ・焼肉用などの動きが良かった。連休や週末などは、ブランド牛、それ以外は輸入牛の動きが良かった。豚肉は豚コレラの影響で相場が上昇、ホットメニューの減少により不調となった。鶏肉は販売数量自体は伸びているものの、相場安傾向となっており伸び悩んだ。加工肉の売上回復傾向を指摘するコメントもみられた。」と報告されている。惣菜部門(同102.4%・同100.9%)は逆に高い気温によりおつまみメニューの動きがよく、好天に恵まれた地域では行楽需要で米飯類が恩恵を受けた。とし前年を上回った。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセイジ工業協同組合調べによる8月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比106.8%の4,632千トとなった。うち国内物は同108.8%の3,839千トと前年を上回ったが、輸入物は同97.7%の0.793千トと下回った。1-8月累計合計では同103.5%の36,730千トと前年を上回っている。鶏肉加工品は9月以降も年末に向け需要が増加すると考えられ、国産むね肉価格が比較的低位で安定していることで国産比率が高まっており、さらに国産物での製造量増加を期待したい。
在	1. 令和元年8月 (1) 推計期末在庫は国産28,7千ト(前年比99.4%・前月差△0.3千ト)、輸入品128,2千ト(同91.5%・同+0.6千ト)と合計で157.0千ト(同92.9%・同+0.4千ト)となった。生産量が6.4千ト減少し、輸入量も2.7千ト減少した。国産品の出回り量と生産量がほぼ同じだったため、国産品の在庫が微減した。輸入品は出回り量が約1.1千ト増加の49.9千トとなったため前月より増加したものの、前年比で見ると91.5%と減少した。
	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(10月29日公表)では、9月は国内生産量が前月比で約2.3千ト増加、輸入量は前月比で約0.3千ト減少、出回り量も前月比で約5.1千ト減少、その結果期末在庫は約164.3千トと前月より増加し前年比でも100.9%と上回る見通しとなっている。 (2) 10月は前月比で生産量が13.3千ト増加し、輸入量はブラジル中心に2.8千ト減少、出回り量は20.3千ト増加することから期末在庫は国産・輸入品合計で2.4千ト減少の161.9千ト(前年比97.1%)と予測されている。11月は生産量が4.1千ト減少し、輸入量は0.1千ト増加、出回り量が9.4千ト減少することから、在庫は3.3千ト増加の165.2千ト(前年比99.4%)と前年並みの予測となっている。
相	1. 10月動向 (1) 10月の平均相場は、もも肉556円/kg(前月比+12円)・むね肉254円/kg(同+19円)正肉合計で810円/2kgと前月比で31円上回ったが、前年比では30円下回った。もも肉は月初め553円で始まり、上げ基調で推移し一瞬の下げはあったものの一時566円を記録し月末562円で結果9円高となった。むね肉も、量販店等の特売用や加工向けに一定需要があり、月初248円・月末257円の9円高の上げ基調の推移となった。
	2. 11月見通 (1) 気象庁の1カ月予想では、11月の気温は前年並みかやや高いとなっているものの、10月からの紅葉の見ごろ時期が長引きそうで、行楽等での需要増加や鍋物需要の回復も期待され、もも肉は月平均580円と予測する。むね肉についても、引き続き量販店等での特売需要やサラダチキン向け等の加工筋の引合いも堅調で強保合い圏内で月平均260円と予測する。

実績

生産状況 単位:千羽、千トン、%

	R元年9月推計実績		R元年10月計画		R元年11月計画		R元年12月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	63,632	102.4%	70,589	102.2%	61,230	101.3%	67,030	101.9%
処理羽数	56,501	103.9%	61,931	101.7%	60,916	102.4%	65,965	102.4%
処理重量	164.9	104.1%	183.8	102.1%	181.5	102.5%	196.3	103.0%

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」

輸入動向 単位:千トン、%

品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R元年6月	43.4	43.9	98.8	39.0	41.1	94.9	82.4	85.0	96.9	52.6	47.4
R元年7月	53.2	45.7	116.5	46.6	45.9	101.6	99.8	91.6	109.0	53.3	46.7
R元年8月	50.5	50.8	99.4	42.0	43.1	97.4	92.5	93.9	98.5	54.6	45.4
R元年9月	53.6	40.2	133.2	41.1	38.2	107.7	94.7	78.4	120.8	56.6	43.4
R元年累計	417.5	415.8	100.4	374.9	367.1	102.1	792.4	782.8	101.2	52.7	47.3

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞

鶏肉の消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、%

履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R元年6月	1,437	1,366	105.2	1,268	1,231	103.0
R元年7月	1,298	1,294	100.3	1,185	1,194	99.2
R元年8月	1,244	1,285	96.8	1,121	1,163	96.4
R元年平均	1,377	1,349	102.1	1,265	1,275	99.2

※参考資料:総務省統計局HP

相場(年別・暦年) 単位:円

	もも肉	むね肉	計
H25年	583	246	829
H26年	626	294	920
H27年	639	336	975
H28年	621	255	876
H29年	626	315	941
H30年	595	282	877

在庫状況 単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R元年5月	30.7	30.7	99.9	122.1	142.3	85.8	152.8	173.0	88.3
R元年6月	30.6	29.3	104.5	123.0	136.8	89.9	153.6	166.0	92.5
R元年7月	29.0	28.5	102.1	127.6	139.5	91.4	156.6	168.0	93.2
R元年8月	28.7	28.9	99.4	128.2	140.1	91.5	157.0	169.0	92.9

※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構

相場(月別) 単位:円、%

品名	もも肉			むね肉			正肉合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R元年7月	543	548	99.1	222	265	83.8	765	813	94.1
R元年8月	535	539	99.3	225	263	85.6	760	802	94.8
R元年9月	544	550	98.9	235	265	88.7	779	815	95.6
R元年10月	556	570	97.5	254	270	94.1	810	840	96.4
R元年11月	(580)	588	98.6	(260)	274	94.9	(840)	862	97.4
R元年12月	(595)	618	96.3	(260)	279	93.2	(855)	897	95.3
R元年平均	585	596	98.2	282	285	98.9	867	881	98.4

※()は見通し

※1-10月平均